

各種資産評価単価の訂正に伴う費用対効果への影響について

R4年8月1日水管理・国土保全局河川計画課より発表された、「治水経済調査マニュアル（案）各種資産評価単価及びデフレーター」の訂正※に伴い、平成29年度・令和元年度・令和2年度に事業評価を実施した事業について、訂正単価を用いて便益の算出を行い、費用対効果への影響を確認。

※「各種資産評価単価及びデフレーター（平成19年度（2007年度）公表分～令和2年度（2020年度）公表分）」における各種資産評価単価の訂正について
https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/seisaku_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/20220801_Teisei.pdf

評価年度	分野	事業名	内容	B（億円）			B/C		
				訂正前	→	訂正後	訂正前	→	訂正後
H29	河川	緑川直轄河川改修事業	再評価	4,821	→	<u>4,820</u>	11.4	→	11.4

※修正箇所を朱書きにて表示

各種資産評価単価の訂正に伴う費用対効果への影響について

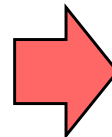
※修正箇所を朱書きにて表示

2. 事業の必要性等【事業の投資効果】

訂正前

◆全事業における費用対効果の結果

項目		今回評価時 (平成29年度)
全事業	便益:B(億円)	4,821
		一般資産被害額 : 1,729.1 (35.9%)
		農作物被害額 : 15.4 (0.3%)
		公共土木施設等被害額 : 2,929.0 (60.8%)
		営業停止損失 : 72.5 (1.5%)
		応急対策費用 : 68.5 (1.4%)
	残存価値 : 6.5 (0.1%)	
B/C	11.4	



訂正後

◆全事業における費用対効果の結果

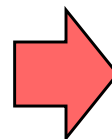
項目		今回評価時 (令和4年度)
全事業	便益:B(億円)	4,820
		一般資産被害額 : 1,728.5 (35.9%)
		農作物被害額 : 15.4 (0.3%)
		公共土木施設等被害額 : 2,928.1 (60.8%)
		営業停止損失 : 72.5 (1.5%)
		応急対策費用 : 68.5 (1.4%)
	残存価値 : 6.5 (0.1%)	
B/C	11.4	

3. 事業の進捗見込み(河川整備計画の内容)

訂正前

項目	当面実施する整備
便益(B ₁)	942.8億円
残存価値(B ₂)	3.0億円
総便益(B ₁ +B ₂)	945.8億円

項目	当面実施する整備
建設費(C ₁)	85.8億円
維持管理費(C ₂)	4.7億円
総事業費(C ₁ +C ₂)	90.5億円
費用便益比	10.5



訂正後

項目	当面実施する整備
便益(B ₁)	942.7億円
残存価値(B ₂)	3.0億円
総便益(B ₁ +B ₂)	945.6億円

項目	当面実施する整備
建設費(C ₁)	85.8億円
維持管理費(C ₂)	4.7億円
総事業費(C ₁ +C ₂)	90.5億円
費用便益比	10.5